



創刊号

2007年9月1日発行

兵庫県立洲本高校同窓会
東京支部

「東京・洲高」の創刊を祝う



東京支部長

杭田 保孝

同窓の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ところで、われらが母校兵庫県立洲本高等学校は、本年度創立百十周年を迎えました。そして、洲高同窓会東京支部は発足して三年、ここに会報第一号を創刊することができました。世紀を超える長い歴史の一隅で、云々してやうやく、その思いを禁じ得ません。そしてそれは文字通り一枚の紙に印刷が施された紙片にすぎません。たかが一枚の紙片にすぎませんが、この刊行をご提案なされ、いろいろとご支援くださった先輩各位に心から御礼申し上げるとともに、小さなながら生みの苦しみを味わったご担当の方々の努力に敬意を表します。

東京支部は発足したが、年一回の総会の席上だけでは支部の姿の輪郭を知るのさえおぼつかなく、

せめて世代別の人員構成や組織の姿をお知らせすることに、当会に対する皆様方の見る目の変化や参画意識の涵養を促すことができればとの極めて初歩的な発想から刊行を決断いたしました。

ついでに、今回はまず刊行することを目的とし、情報交流の手段が多様化している昨今にあつて、今後どのような形式で、どんな情報を、更には双方向的に有効活用できる紙面をどのように作り上げていくのか、関係者の努力は当然ながら会員各位の積極的な参画を心から歓迎し、期待するものであります。

今ここに生まれた一つの生命が会員各位のご尽力によって価値あるものへと成長し、同窓会活動に大きく寄与することを信じてやみません。



前東京支部長

近藤 和美

同窓会の皆様にはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。平素は東京支部になにかとご支援、ご協力を戴き厚くお礼申し上げます。そしてこの度は、東京支部会誌の創刊、誠にめでとうございます。

さて、私こと、去る三月末日をもちまして任期満了となり洲本高校同窓会東京支部長を退任いたしました。

顧みますと、少子高齢化等最近の社会情勢に鑑み、旧制洲本中学校先輩の方々のご示唆と多くの地元会員のご賛同を戴き東京支部が発足いたしましたのは一昨年の十一月でした。そして昨年は「東京淡交会」が解散となり、同時に当支部へ合流されました。その折には会誌「東京淡交会だより総集編」と暖かい援助金を拝領いたしました。貴重な歴史と伝統はしっかりと引き継ぎたいと思っております。

会員相互の懇親を一層深めながら淡路・更には兵庫県と東京の行状諸団体との交流の門戸を開くことができ、またしたのも偏に皆様のご支援ご協力の賜物と厚くお礼を申し上げます。

なお、後任の東京支部長には杭田保孝（洲高五回卒）氏が就任いたしました。今後とも一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



同窓会長

三根 一乗

在京の同窓諸兄弟におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年十一月に開催された支部総会にお招きいただきました。その際、皆様の母校に対する熱い思いに感激すると同時に、いくつかの深く考えさせられるご意見を伺うことが出来ました。その中で印象的であったのが、「東京淡路会」での若い世代の洲高出身者の存在感がやや薄くなってきたのではないかと、というご発言でした。

このことと関連づけられるかどうかについては慎重でなければなりません。母校では島内他校に對しての、いい意味での競争意識が希薄であり、南あわじ市・淡路三原高校、淡路市・津名高校、洲本市・洲本高校の「棲み分け」に安住しているように思えます。他校では、おそらくは「洲高に追いつけ、追い越せ」が合言葉になっていることは想像するに難くありません。今秋の講演では、この点についても触れさせていただき、併せて皆様のご意見を頂戴したいと思っております。

会報の発刊が、皆様の絆の一層の強化に繋がることが祈念しつつ、併せて東京支部のますますのご発展をお祈り申し上げます。

祝洲本高校同窓会 東京支部会報創刊

- 顧問 森田 武^{*} (18年)
- 顧問 赤樫 卓爾 (19年)
- 顧問 片桐 重延 (22年)
- 顧問 高見 安規子 (23年)
- 顧問 西村 泰一 (25年)
- 顧問 出口 聖子 (25年)
- 顧問 近藤 和美 (26年)
- 顧問 酒井 克美 (26年)
- 顧問 増岡 小夜子 (26年)
- 顧問 八木 研次郎 (26年)
- 顧問 魚谷 正彦 (27年)
- 顧問 片桐 靖子 (27年)

*卒業年・昭和

洲本高校(中学・高女・併中)
首都圏在住者数

卒業年

大正 12 13 14 15

昭和 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

28	27	26	25	24	23	21・22	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	15	14	13	12
28	29	41	21	24	30	23	31	9	11	10	9	11	8	6	10	7	4	3	2	1	3	3	4	2	1	1	1	2	2
58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
9	13	6	10	6	24	27	22	18	20	16	17	23	24	20	22	26	38	21	18	24	26	29	25	29	19	24	34	27	16

東京支部役員紹介

支部長	杭田 保孝 (28年)	副支部長	秦 莞二郎 (30年)	事務局長	海道 俊雄 (28年)	会計監査	藤井 博章 (49年)	幹事	加藤 純一 (28年)	松本 一三 (34年)	脇村 佳子 (34年)	植田 英雄 (36年)	近藤 直子 (44年)	岡坂 久隆 (49年)	上田 哲司 (52年)	東 睦治 (57年)
-----	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

*卒業年・昭和

平成	1	63	62	61	60	59
6	5	4	3	2	1	0
4	2	9	13	9	5	5
総計	17	16	15	14	13	12
1068	1	0	1	1	0	1
	2	0	0	3	0	0

募 集

▼会員増にご協力を
上記の数字のように、会員対象者数は総計は一〇六八名です。うち会費納入者(総会出席者)は一六〇余名です。本年度の総会に出席できない方も、是非お誘いあわせのうえご出席いただき、会員増にご協力ください。

▼会報によき愛称を
創刊号は仮称として「東京・洲高」としてスタートしました。ふさわしい愛称を皆さんがつけてください。総会出欠回答はがきにてご提案下さい。お待ちしております。

▼会報の通信員に
創刊号はご覧のとおり2ページと小さくスタートしましたが、第2号から4ページ建てとして活動の推進役の一部を担うにふさわしい魅力ある紙面を構成して行きたいと願っています。その為には会員の動静を的確に伝えることが重要です。あなたが通信員の役目を担っていただき、同期の方々との動静を中心に会員の消息をお知らせください。

▼幹事になってください
あなたのチカラを同窓会の運営にお貸しください。出欠はがきにその旨ご記入願います。

▼維持会員になってください
あなたの財を同窓会の運営にお役立ててください。(出欠はがきに御意思をご記入ください。)

事務局(電話・FAX)〇四五・三六二・一三三五/海道)または役員まで
題字「東京・洲高は 秦莞二郎氏(昭和三〇年卒)による。

洲本高校同窓会HPアドレス
(東京支部の活動も紹介されています)
<http://sukou-dousoukai.com/>

▶ 御 案 内 ◀
洲本高校同窓会東京支部
総会および懇親会

- ・日時 平成19年11月10日(土) 11時から14時まで
(受付は10時より)
- ・場所 「東海大学校友会館」 TEL03-3581-0121
千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル33F
地下鉄銀座線虎ノ門駅5番出口より徒歩3分
- ・次第 ①総会 11時から11時15分まで
②講演会 11時15分から12時まで

やぶにらみ「洲高物語」

私たちが一番知りたい母校は今どうなっているのだろうか、また、これからどうなっていくのだろうか。最適の人が語る。

講師：三根 一乗(みね かずのり)氏

(洲本高校昭和32年卒、現在、三根医院院長、洲本高校同窓会会長、洲本市医師会会長、淡路医師会会長)

③懇親会 12時から14時まで

- ・総会費 男性 8000円 女性 7000円
- ・年会費 500円(今回初参加の方のみ)

お願い：総会費・年会費は、同封の振込用紙で前もって郵便局に振込をお願いします。

出欠回答および振込み締切り 10月10日(水)